

視点・論点

12月定例会

12月定例会において、各常任委員会等で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務文教委員会

委員長 長能 文代
なかの ふみや

十二月定例会に付託された八議案はすべて可決された。

特に議論が活発に行われたのは平成二十二年度一般会計補正予算(第三号)であった。①教育委員会の会議録を速記法に準ずる記録から要領筆記に変更する事について、様々な疑義が出され、「要領筆記でも内容は変わらないこと。開示請求があれば個人情報を除きデータを開示する」との説明がなされた。②子宮頸がん等予防接種については対象者や、副作用と安全性、補償及び相談体制などについて質疑があり、申請者全員に接種することや安全性は十分確保されている旨の説明がなされた。③地区公民館等維持費については、先延ばしにされてきた公民館の大規模改修を求める意見が出され、「平成二十三年度に耐震診断を実施し、二十四年度以降の大規模改修計画を作成したい」との説明がなされた。④土地売り払い収入については、七十三号議案の南中学校位置の変更(土地の一部売り払い)とも絡んで「今後は、宅地開発に伴うなどの

特殊事情の場合は事前に十分な説明をして欲しい」などの意見が出された。



総務文教委員会現地調査

市民厚生委員会

委員長 塚本 良治
つかもと よしはる

当委員会に付託された議案四件及び請願二件について審査を行いました。

議案四件はすべて特別会計の補正予算の審査で採決の結果、全員賛成で可決しました。

「中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書に関する請願について」は、委員から、所得税法第五十六条は、租税回避防止の観点から設けられたもので、廃止については慎重な検討が必要であるとの反対討論や、男女共同参画社会基本法も制定され、時代の流

れや女性の社会進出の面でも、廃止して自家労賃を必要経費として認める法的基盤を作ることが重要などの賛成討論が出され、採決の結果、賛成多数で採択されました。

継続審査となっていた「知的障害者入所施設の利用者が安心して暮らしていける制度充実に求める請願について」は、障害者の方々の自立の観点から、昼夜一体型の入所施設の存続は受け入れられない。介護給付の必要に応じて適切なサービスが利用できるように障害程度区分が設けられているため、程度区分そのものを即時撤廃することは受け入れられないなどの反対討論が出され、採決の結果、賛成者がなく不採択となりました。

地域建設委員会

委員長 野口 明美
のぐち あけみ

先の定例会で継続審査となっていた決算議案は二件。土地取得事業特別会計歳入歳出決算は平成二十一年度で本事業は終了し、決算により実質収支額は〇円となる説明を受けた。下水道事業会計収入支出決算は、春日市御笠川・那珂川流域関連公共

下水道事業計画変更について等の意見が出された。いずれも全員賛成で認定した。

今期定例会で付託を受けた議案五件について審査を行った。

「平成二十二年度下水道事業会計補正予算(第二号)」は、下水道使用料収入を大きく増額したのになぜか、マンホールの点検は市内全域が対象なのか、また、点検の年次計画等の意見が出された。慎重に審査を行った結果、全員賛成で可決した。「春日市法定外道路管理条例の制定については、道路法やその他の法令の適用を受けない市内所有の法定外道路の保全及び適正な利用を図るため、その管理に關して必要な事項を定めるものである。委員から、条例の施行まで市内の法定外道路の箇所を把握、調査し、住民の安全管理のあり方を検討してほしいとの要望が出された。採決の結果、全員賛成で可決し、その他三議案は、全員賛成にて可決した。

決算審査特別委員会

委員長 五藤 源寿
ごとう もとひさ

本委員会に付託を受けた「平成二十一年度一般会計歳入歳出

決算認定」について、議会閉会中に四日間にわたり慎重に審査を行いました。平成二十一年度の歳出決算額は二八〇億二、八九五万二千元となっています。

審査の過程では、固定資産税の課税方法について市民への分かりやすい説明や広報に努めてもらいたい、経常収支比率について義務的経費削減のための具体的な方策を検討し改善に努めてもらいたい、地方交付税について今後も国に対して増額確保を強く要求してほしい、市営住宅の建替えについて基金で整備を行うのか起債を活用するのか、予備費については温水プールサークル活動団体指導育成業務で大きな支出がなされたことについて今後このような予定外の支出が発生しないよう事業の実施に当たっては市民への事前説明や関係者との調整を十分に行なっていたらきたい、ペットの飼いや方マナー向上の啓発に全庁的取り組みを行ってほしい、啓発事業全体に関して今後も積極的な見直しを行い市民意識の改革につなげていただきたい等の意見が出されました。採決を行った結果、賛成六名反対一名の賛成多数で認定することに決定しました。

議決結果（賛否が分かれた案件）

※その他の案件については全員賛成で可決されました。

平成22年第4回(12月)定例会 件名	創政会			公明党			近未来21			薫風		日本共産党		衆政会		議決結果			
	竹下尚志	友廣英司	柴田英明	與國洋	坂本靖男	岩切幹嘉	吉村敦子	前田俊雄	野口明美	金堂清之	大久保妙子	武末哲治	藤井俊雄	近藤幸恵	村山正美		長能文代	五藤源寿	塚本良治
平成21年度 春日市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	認定	
第5次春日市総合計画における基本構想の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
知的障害者入所施設の利用者が安心して暮らしていける制度充実を求める意見書提出の請願について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	不採択
「中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書」に関する請願について	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書について	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※各党派の所属議員の党派は次のとおり
 ■創政会〔無所属⑤〕 ■公明党〔公明党④〕 ■近未来21〔無所属③〕
 ■薫風〔無所属②〕 ■日本共産党〔日本共産党②〕 ■衆政会〔無所属②〕

(原案について ○賛成 ●反対)
 ※松尾浩孝議員は議長職のため、表決権はありません。
 ※創政会の松尾嘉三議員は平成22年11月22日付けで議員辞職されました。

市議会の評価

春日市議会運営委員会

市議会では、春日市議会基本条例に基づき、定例会ごとに議会活動の評価を行います。

十二月定例会では、市長から提案された議案十七件、請願二件(内一件は、九月定例会からの継続審査分)について、会期中に五日、各委員会で慎重に審査を行いました。審査の結果は、最終日の本会議に委員長報告委員会の審査結果報告を行い、請願第三号^③に対して賛成討論が一件行われました。採決の結果、十七議案及び二意見書は可決、請願第四号は採択、請願第三号は不採択となりました。

また、一般質問では二日間にわたり、十五人が質問を行い、時間の延長が必要となる程活発な議論を交わしました。

なお、委員長報告の詳細及び本会議の会議録を市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

※請願第三号「知的障害者入所施設の利用者が安心して暮らしていける制度充実を求める意見書提出の請願について

**総務大臣
感謝状の贈呈**

去る平成二十二年十月十五日、東京都千代田区において都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式が行われました。

本市議会からは、三十五年以上の永きにわたり市議会議員として地方自治の振興発展に寄与し住民福祉の向上に尽力した功績が認められ、村山正美議員に感謝状が贈呈されました。



感謝状を贈呈された村山正美議員